

食と農の市民談話会

▶2021年

- 第1回 6月8日(火) [和暦 阜月朔日:6/10]
1億農ライフ～都市のわたし達による食の革命 (仮題)
小谷あゆみさん (農ジャーナリスト、ベジアナ)
(参考) <https://ameblo.jp/ayumimaru1155/>
- 第2回 7月13日(火) [和暦 水無月朔日:7/10]
私が帰還困難区域で牛を飼う理由 (仮題)
谷さつきさん (もーもーガーデン、(一社)ふるさとと心を守る友の会、福島・大熊町)
(参考) <https://www.facebook.com/friends.fumane>
- 第3回 8月10日(火) [和暦 文月朔日:8/8]
現場から見える日本の食、農の課題 (仮題)
榎田みどりさん (農業ジャーナリスト)
(参考) <https://www.zck.or.jp/site/column-article/5039.html>
- 第4回 9月7日(火) [和暦 葉月朔日:9/7]
市民協働による関係人口づくりを通じた持続可能な社会づくり (仮題)
大和田順子さん ((同志社大学ソーシャル・イノベーションコース教授)
(参考) <https://policy.doshisha.ac.jp/faculty/oowada/info.html>
- 第5回 10月5日(火) [和暦 長月朔日:10/6]
私がお寿司に巻き込んでいるもの (仮題)
八幡名子さん (巻き寿司やさん、東京・八王子)
(参考) <https://www.yahatameikomaki.com/>
- 第6回 11月9日(火) [和暦 神無月朔日:11/5]
食と資本主義の歴史—人も自然も壊さない経済とは? (仮題)
平賀 緑さん (京都橘大学准教授)
(参考) <http://www.showado-kyoto.jp/book/b432689.html>

現在、日本の食や農は多くの問題を抱えています。

例えば、栄養バランスの崩れと食習慣の乱れ、食への不安の高まり、食品ロスの増加、食料自給率の低下、担い手の減少と高齢化、荒廃農地の増加、中山間地域等における集落の消滅等……。

これらにはそれぞれ複雑な原因がありますが、共通する背景として、食(食卓)と農(生産現場)との間の距離が離れてしまっていることがあります。消費者には産地や生産者の姿が見えにくくなったことから、食べものは単にお金を出せば買える「商品」でしかなくなりました。その結果、食べものを大切にし、生産者を敬い、あるいは食べものをもたらしてくれている自然や環境を大切にしようという気持ちが薄れてきているのではないのでしょうか。

離れてしまった食と農の間を再び縮め、今や圧倒的多数となった都市に住む消費者が、食や農に関わる問題を自分ゴトとして捉えられるようになる必要があります。

本談話会は、そのきっかけ作りの一つの試みです。

- ◆Zoomを使用したオンラインでの講座です
- ◆毎月1回火曜日(和暦の新月の日に最も近い火曜日)19:00~21:00
(話題提供1時間、質疑応答・意見交換1時間程度)
- ◆定員は毎回30名まで(先着順、市民科学研究室会員の枠は原則15名まで)
- ◆参加費:1回500円(市民科学研究室会員は無料)
- ◆申し込み:市民科学研究室ウェブサイトの専用サイトよりお願いします
- ◆お問い合わせは、
主催者であるNPO法人市民科学研究室へ
電話:03-5834-8328
メール:renraku@shiminkakuga.org